２０２３年度事業計画

　(令和５年１月１日～令和５年１２月３１日)

１．事業実施の方針

**子どもの心に寄り添い心を受けとめ生きる力を支援する活動の充実と発展を図る。**

1. 電話とチャットで子どもの声を受けとめる。
2. 受け手と支え手の資質の向上とモチベーションの維持を図るために定期的な研修を必修とする。
3. 全国のチャイルドラインと協力体制をとり情報を共有し運営や研修に生かす。
4. オンライン養成講座を開催し受け手を養成する。

**子どもの権利条約に保障された子どもたちを支える社会環境をつくるために地域社会に提言活動を行う。**

1. チャイルドライン支援センターに協力し全国のチャイルドラインとともに全国的な規模で受けとめた子どもたちの声を社会に発信していく。
2. 広報誌や実施報告書を発行し広報普及に力を入れる。
3. 公開講座を開催するなど、広く一般の方に「子どもの現状」の理解を広める。

２．事業の実施に関する事項

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 事　業　内　容 | 実　施 日　時 |
|  | 子どもの声を聴く事業の実施 | 電話毎週月・金・第2日・第3土　　16時～21時  オンライン 毎月第1・第3木曜日　第2金曜日  　16時～21時　※曜日を変更する場合もある |
| 第14期  電話の受け手養成講座 | ①5月28日(日)14時～　公開講座　土屋佳子  ②6月11日(日)10時～「チャイルドラインとは」  ③6月11日(日)13時～「傾聴の基礎」杉山雅宏   1. 7月9日(日)午前「思春期の性」栃木 2. 7月9日(日)午後「ロール」福本 3. 8月5日(土)午後「発達障害への理解」高浜浩二 4. 8月 「ロール」下牧千佳乃 5. 9月　「 性の多様性」 6. 9月「ロール」研修部 7. 10月「記入用紙・危機管理・面接」事務局 |
| 継続研修 | 1. 電話の逐語　　2月・5月・10月 2. オンラインチャットの逐語　12月 3. アクティブリスニング・見立て直し　3月・4月・1月 4. 現地研修 |
| 支え手会議(研修)の開催 | 年2回　4月　11月 |
| 子どもたちに配布するカード・ポスターの作成と広報 | 年間約20万枚のカード配布  (県内全域の小学校・中学校・高等学校等) |
| ２  啓発事業 | 公開講演会の開催 | 1. 公開講座　　土屋佳子　 5月28日 |
| 広報普及 | 実施報告書の発行　　　広報誌の発行 |
| 啓発のためにイベント等に参加 | 1. チャリティゴルフ 2. ﾌｪｽﾀMy宇都宮・ふれあいフェス・スポーツゴミ拾い 3. サンタdeラン 4. 虐待防止県民のつどい 5. つながりサポートネットワークに参加協力   ※その他状況に応じて参加する |

**＜　財　政　＞**

実施報告書や広報誌等の有効な活用を図り、県内企業や個人の賛助会員についても、計画性を持って積極的な働きかけを継続的に行っていきたいと考えます。

チャイルドラインの意義を広報しながら寄付を募ることを会員一人ひとりが自覚をもって取り組む。

**＜　研　修　＞**

第14期養成講座を開催します。幅広い年代、地域の方々に呼びかけ、沢山の人材を確保できるように会員の協力を仰ぎます。

経験を活かし、コロナ対策を万全に、リモートを活用しながら、より参加しやすい研修を計画します。

研修のクリア目標を明確にして、早期の全員目標クリア達成をめざします。

受け手、支え手のスキルアップを目指し、アクティブリスニングをテーマに研修をくみたてます。3年間実施出来なかった、実地研修を秋に計画しています。

**＜　広　報　＞**

子どもたちへの発信として、例年どおりカード配布やポスターの掲示などによりチャイルドラインをより身近なものと感じてもらえるよう広報に努力したいと思います。

社会発信としての活動は、withコロナの時代になりいろいろなイベントが開催されるようになると思いますので、いろいろな交流会やイベントなどにも積極的に参加したいと思います。

リニュ―アルしたホームページを使ってより伝わりやすい情報を発信していきます。

広報誌もホームページより閲覧できますので、ご覧ください。

ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなどSNSでの発信も引き続き積極的に行っていきたいと思います。

コロナ禍大きな影響を受けている子どもたち、又いじめ、虐待、発達障害等、生きづらさを感じている子どもが多いこの社会において、他の団体、NPOとも手を携え、子どもの現状の理解と支援にも目を向け、広報誌などを通じて社会発信していきたいと考えています。

広報誌の発行は、第34号・第35号の発行を予定しています。

内部交流を目的に発行している通信は隔月で第115号～第120号の発行を予定しています。